

電子入札システムの一般概要

沖縄県電子入札システムは、インターネット上のやり取りにより公共事業の入札手続きを行う電子入札システムと、発注見通しや入札結果等を公表する入札情報サービス(PPI)で構成されています。

- 1.電子入札システムとは
- 2.入札情報サービスとは
- 3.電子入札システムと入札情報サービスとの関係
- 4.電子入札システム導入の効果

1.電子入札システムとは



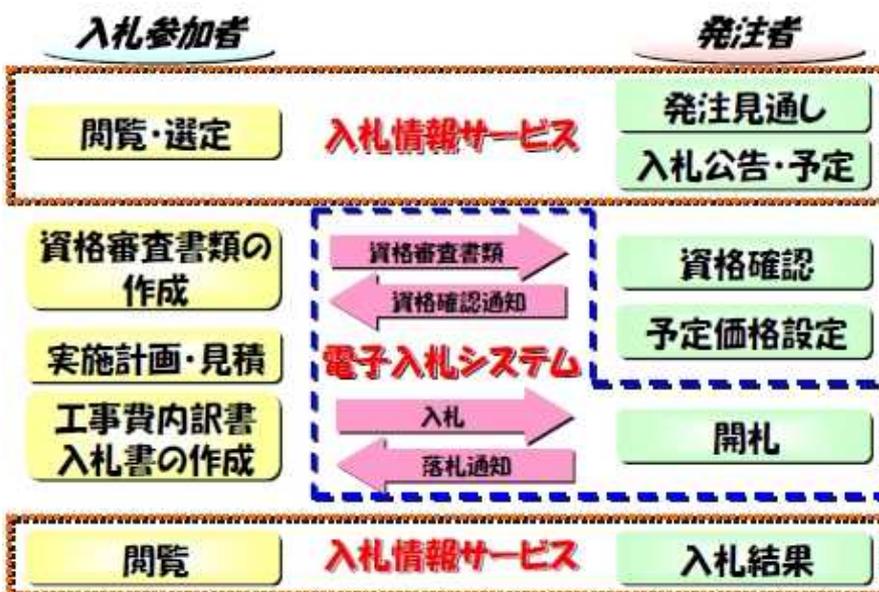
従来紙により行われてきた入札手続きを、インターネット技術を利用して行うものです。電子入札への参加はICカードを用いることにより、暗号化や電子署名等の技術による入札書等の盗聴・改ざん・漏洩等の防止を図っています。また、受発注者ともに、入札書の情報は開札時まで分からない仕組みとなっています。

2.入札情報サービスとは



入札情報サービスは、発注見通し情報、入札公告等の発注情報、入札結果等をインターネットを通じて広く提供します。入札情報サービスを利用することにより、県民や入札参加者は入札情報を容易に閲覧できます。

3.電子入札システムと入札情報サービスとの関係



入札参加者は入札情報サービスにより入札情報を入手し、ICカードを利用して電子入札システムにより入札に係る手続きのやり取りを行います。

4.電子入札システム導入の効果



事務の効率化：

書類作成や入札の電子化による事務の効率化・迅速化が図られます。

コスト縮減：

移動時間や待ち時間、移動経費が減少します。

透明性の向上：

入札の過程や結果がインターネット上に公表され、透明性が向上します。

入札参加機会の拡大・競争性の向上：

入札情報の入手が容易となり、地理的、時間的な制約が解消され、入札参加機会が拡大、競争性が向上します。